

This is a newsletter from Shinshu University International Center (SUIC).
In case this email newsletter is unreadable, please try the online version
http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/upload/pdf/publications/suicnewsletter_vol.38.pdf

◆◆◆ Vol. 38 2012. 9. 5 ◆◆◆

◆◆◆
◆◆◆
信州大学国際交流センター ニュースレター
Shinshu University International Center (SUIC) Newsletter

◆◆◆ ◆◆◆
発行：信州大学国際交流センター(SUIC)
<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/>

[今号の目次]

- * ごあいさつ
- * 最近の出来事
- * 信大NOW No. 76
- * スタッフ近況報告 合津 美穂 先生 (国際交流センター非常勤講師)
- * 生活ちょっとコラム

■□
□ ごあいさつ

みなさんこんにちは！

ロンドンオリンピックも終わり、日本は金メダル7個、銀メダル14個、銅メダル17個、計38個のメダルを獲得し史上最多となりました。連日寝不足で大変だった、という人も多いのではないのでしょうか。

今はパラリンピックの熱戦が繰り広げられていますね。様々な苦難を乗り越えて活躍している選手を見るだけで心が熱くなり、本当に勇気づけられます。日本勢では視覚障害部門の柔道男子100キロ超級で、正木健人選手が今大会で日本勢初の金メダルに輝き、視覚障害部門の競泳女子100メートル背泳ぎでも秋山里奈選手が大会新記録で金メダルを獲得しました。みなさんの国のアスリートたちも、活躍していることでしょう。

■□
□ 最近の出来事

★2012年度春期「国際交流センター修了発表会」が開催されました。

2012年8月2日～3日に、全学教育機構を会場に、2012年度春期国際交流センター修了発表会が開催されました。

今回は、国際交流センターの授業で日本語を学んだオランダ、ドイツ、ベルギー、チュニジア、中国、韓国出身の留学生29名が、自らが関心を持つテーマや故郷、専門などについて発表を行いました。発表会には信州大学の教職員や学生をはじめ、一緒に日本語を学んだ留学生、留学中にお世話になった一般市民の方など多数が参加し、一つ一つのスピーチに感想や質問を寄せるなど、発表者と来場者双方に有意義な時間となりました。

詳細はこちら

↓ ↓ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/aboutus/cat3144/2012-40.html>

★留学生が松本ぼんぼんに参加しました。

夏といえば松本ぼんぼん！留学中に参加した方も多いのではないのでしょうか。毎年2万人以上の参加者が松本の市街地を踊り歩く松本ぼんぼん。今年は8月4日土曜日に行われました。

松本留学生応援ファミリーの連（踊りのグループ）では総勢80名以上が参加し、大変な盛り上がりとなりました。留学生の皆さんは、ファミリーの会が用意してくださったゆかたやはっぴを着て、日本の夏まつりを楽しみました。

写真はこちら

↓ ↓ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/upload/photo/201208bonbon1.jpg>
<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/upload/photo/201208bonbon2.jpg>

★信州大学自然科学館がオープンしました！

8月4日「信州大学自然科学館」のオープニングセレモニーが行われました。「信州大学自然科学館」には、旧制松本高等学校や松本師範学校時代から引き継がれた貴重な資料のほか、理学部教員と学生により発見された化石やミエ（シンシュウ）ゾウのレプリカ、岩石標本や文理学部（1949～1966年）から使われてきた計測装置などが収蔵、展示されています。

セレモニー後には、オープン記念として、養老孟司先生（東京大学名誉教授）をお招きしての特別講演会「むし・信州・わたしの壁」が行われ、養老氏のユニークな語り口に会場がわきました。

詳細はこちら

↓ ↓ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/topics/2012/08/post-480.html>

★長野県ボディビル選手権大会で、医学部6年生 足立国大さんが[男子の部]で優勝、理学部2年生 黒木健太郎さんが[男子新人の部]で2位入賞！！

8月19日（日）、上田創造館（上田市）にて行われた長野県ボディビル選手権大会において本学パワーリフティング部に所属する学生2名が好成績を収めました。

・第29回男子長野県ボディビル選手権大会（参加者9名）
優勝：医学部医学科6年生 足立国大（アダチクニヒロ）さん

・第10回男子新人の部 長野県ボディビル選手権大会（参加者13名）
第2位：理学部2年生 黒木健太郎（クロキケンタロウ）さん

ボディビルは筋肉繊維をウェイトトレーニング・栄養の摂取・休養を組み合わせることによって発達させる過程のことで、ボディビル競技会（コンテスト）ではその肉体美が審査されます。今大会ではフリーポーズ（1分以内）と7つの規定ポーズ（女子は5ポーズ）でボディビルダーの肉体美が競われました。

詳細はこちら

↓ ↓ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/topics/2012/08/6-2-2.html>

★理工学系研究科 化学・材料専攻 栗原真理さんがセルロース学会ポスター賞受賞

本学大学院理工学系研究科機能高分子学コースの栗原真理さんが、平成24年7月12日～13日に名古屋大学東山キャンパスで行われたセルロース学会第19回年次大会において、「ポリエチレングリコールの表面結合によるキチンナノウイスカーの立体安定化」題して研究成果を発表し、ポスター賞を受賞されました。

詳細はこちら

↓ ↓ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/news/2012/07/48576.html>

■ □
□ 信大NOW No. 76のご案内

信州大学のニュース、歴史や人にまつわる記事、イベントや公開講座の紹介、研究者の研究内容など、信州大学が良くわかる広報誌「信大NOW」最新号の目次を紹介します。

<No. 76>

○信州大学山岳科学総合研究所の「諏訪の顔」
山地水環境教育研究センター

○第2回東アジア山岳文化研究会in中国
山岳科学研究のメッカを目指して
中国山東省・泰山学院のシンポジウム「東亜山岳文化研究会」に参加

○教師を目指す学生たちが自らつくる実践トレーニングの場
「信大Y O U遊」で未来をつかむ！

○平成24年度（第1回）信州大学地域連携フォーラム
信州大学グリーンイノベーション研究支援事業成果報告会

信州型グリーンイノベーション研究の現在
ー産学官民の連携と総合大学が担う役割ー

- 平成23年度環境教育海外研修
今、見つめ直す環境とエネルギー
ー第4回海外研修はイタリアー

○TOPICS

近藤誠一文化庁長官と語る会「信州大学白熱教室」開催
オープンキャンパス2012キックオフ！
今年はエリアワンセグ放送も実験
今年もスマートグリッド展に出展、
信州大学のグリーン・イノベーション研究
高島屋新宿店「大学は美味しい」フェアに農学部出店
信州大学と（社）日本ケーブルテレビ連盟信越支部
長野県協議会の連携協定
信州大学産学官連携推進本部と（社）長野県情報サービス振興協会
（NISA）の連携協定

- 信大キャンパスの「樹」シリーズ ⑦
シナノキ 松本キャンパス西門

全文は信州大学の公式Webサイト上でデジタルパンフレットとして公開
されていますので、ぜひご覧ください。↓ ↓ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/publication/#publication>

■□

- スタッフ近況報告 合津 美穂 先生（国際交流センター非常勤講師）

こんにちは。非常勤講師の合津美穂です。9月に入り、ようやく朝晩は過ごしやすくなってきましたが、今年の日本の夏は本当に暑くて大変でした…。皆さんのお国はいかがですか。

さて、我が家の娘もはや2歳8ヶ月になり、とても上手にお話ができるようになりました。2歳児の紡ぎ出すことばの世界は、詩的でとても素敵です。空を飛んでいるトンボに向かって「トンボさん、トンボさん、のんちゃん（娘のニックネーム）のお手々に止まってちょうだい」、月に向かって「お～いお月様、のんちゃんはここにいるよ」などと話しかけている姿には、心が癒されます。

私は愛知県出身なのですが、夫の両親（長野県千曲市在住）が幼い子ども達に話しかけることばに意味のわからないものがありました。例えば、こんなことばです。①「ノノサン」、②「アンスル」、③「オベチャ」、④「ワニル」。それまで全く聞いたことのない、初めて出会ったことばでした。皆さんはわかりますか？

正解は、①「神様・仏様」、②「拝む」、③「お風呂」、④「人見知りをする」です。これらは年配の人達だけが使うことばではありません。特に④の「ワニル」は私のまわりの若いお母さん達の間でもよく使われている、子育て世代の間では非常に使用頻度の高いことばの一つです。今では私も日常的に使うようになりました。

日本人にも案外知られていないのですが、日本語の育児語（幼児語）には方言もあるんですよ。友定賢治編『全国幼児語辞典』（東京堂、1997）という辞書があるくらいです。例えば、③の「お風呂」の育児語には「ボチャ」（埼玉）、「ダブダブ」（三重）、「タンタン」（大阪）などがあるそうです。皆さんの言語にはこうした育児語はありますか。地域差（方言）はどうですか。

皆さんの中には子育てに奮闘中の人達もいるでしょう。大変なことも多いですが、子育てを通じて出会う新たな世界を楽しみたいですね。

■□

- 生活ちょっとコラム ～季節のごあいさつ～

今年の信州の夏は暑かった！蝉時雨（せみしぐれ）という言葉を知っていますか？多くの蝉が雨のように鳴いている様子を言います。大学の中でもそれはにぎやかな蝉の合唱が聞こえていましたが、さすがに最近、ちょっと元気がなくなってきたようにも思えます。蝉も夏の終わりを感じているのでしょうか。

日本の暦（カレンダー）で今年の「立秋」は8月7日。暦の上ではもうすっかり秋で、「立秋」から「秋分の日」（今年は9月22日）までの暑さのことを、「残

